

令和５年度 第２回早島町地域公共交通会議 会議録

会 議 の 名 称		令和５年度 第２回早島町地域公共交通会議
開 催 日 時		令和６年２月２６日（月） １４：００～：１５：３０
開 催 場 所		役場庁舎３階 全員協議会室
出席者	委 員	（有）早島タクシー 萩原一正、（有）澤田交通 笠井暢人、 若宮自治会会長 岡本 善弘、早島町婦人会代表 河田 智子、 早島町老人クラブ連合会副会長 今井 寿夫、 早島小学校 PTA 会長 寺山 雅人、 西日本旅客鉄道（株）中国統括本部岡山支社 渡辺 孝（代理出席：山口 幸 右典）、 町長 佐藤 博文、副町長 山本 哲也、教育長 白神 敬祐
	専 門 員	中国運輸局岡山運輸支局 宮地 亮平、 倉敷警察署交通第一課規制係 岩崎 史旨、 岡山県県民生活部県民生活交通課 原 弘好、 岡山県備中県民局建設部管理課 鈴鹿 剛
	事 務 局	まちづくり企画課 大崎課長、松下係長、竹並主事
会 議 次 第		１ 開会 ２ 町長あいさつ ３ 自己紹介 ４ 議題・報告事項 （１）会長の選出（議題） （２）早島町コミュニティバスについて（報告） （３）バス停移動について（報告） （４）西コース車両のリース延長について（報告） （５）日笠山団地への運行について（議題） （６）東西コースの運行時刻変更について（議題） （７）南コースの廃止について（議題） ５ その他 （１）意見交換 ６ 閉会

会 議 資 料	・ 次第 ・ 委員、専門員名簿 ・ 配席図 ・ 【資料 1】 令和 5 年度第 2 回早島町地域公共交通会議資料 ・ 早島町コミュニティバス運行路線図 ・ 岡山県パーソントリップ調査の結果について ・ 岡山県パーソントリップ調査報告書
会議録作成者	まちづくり企画課 竹並 令和 6 年 2 月 26 日作成
会 議 内 容 （ 要 点 ）	
1. 開会 〈事務局〉 定刻より少し早いですが、皆様おそろいですので、ただいまから、令和 5 年度第 2 回早島町地域公共交通会議を開催いたします。 本日は、ご多忙の中、地域公共交通会議にご出席賜り、誠にありがとうございます。本日の議事進行を担当させていただきます、まちづくり企画課課長の大崎と申します。よろしくお願いいたします。 最初にご報告ですが、今回の会議から「西日本旅客鉄道株式会社」様が委員として参加いただくようになりました。後ほど皆様に自己紹介をお願いしますので、よろしくお願いいたします。 それでは、はじめに配布資料のご確認をお願いいたします。本日の資料は、「次第」「委員・専門員名簿」「配席図」「コミュニティバス運行路線図」、それと事前送付させていただきました「資料 1」でございます。また、本日、岡山県様から「岡山県パーソントリップ調査の結果について」と「岡山県パーソントリップ調査報告書」を配布しています。資料はございますでしょうか。 それでは、本日の会議ですが、次第に沿って進めさせていただきます。終了時間は 1 5 時 3 0 分を予定しております。皆様のご活発なご意見を頂戴したいと考えていますのでご協力をお願いいたします。 それでは、まず初めに、佐藤町長より、挨拶を申し上げます 2. 町長あいさつ こんにちは、町長の佐藤です。本日は地域公共交通会議にお忙しいところ出席いただきありがとうございます。また、平素から町政全般にわたり、ご理解とご協力を賜りまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。地域公共交通会議には、初めての参加となります。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。 さて、先月の報道等でもありましたが、岡山県が「2023 年岡山県人口の動き」を公表していただき、	

2023 年 10 月 1 日現在で、早島町の人口は増加しているということでした。報道によると、県内で増加している自治体は 3 自治体のみとなっていて、総社市で 33 人増加、奈義町で 7 人増加、早島町で 87 人増加とのことで、県内で大きく増加している自治体となっており、子育て世代を中心に「選ばれる町」になっていると感じています。私たちは受け継いだ早島町を「住み続けたいまち」「住んで良かったまち」「より住みやすいまち」として、次世代へ引き継ぐ役割がありますので、持続可能なまちづくりを進めていきたいと思っています。

その一方で、国道 2 号の交通量は 8 万台を超え、朝夕だけではなく、交通渋滞が発生し、生活道路にまで影響が出ています。現在、国において岡山倉敷間で渋滞対策事業の第 I 期が事業化され、早島町では無津交差点が事業化されました。しかし、すべての交差点が立体化されなければ、渋滞解消にはつながらないと考えており、引き続き国に要望を行っていきたいと思っています。

交通関係の施策につきましては、早島駅のバリアフリー化、駅周辺の市街化編入を含め、拠点整備事業を進めていきたいと考えており、駅のバリアフリー化につきましては、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して令和 7 年度の完成を目指しています。

また、近年全国的に展開されている、AI 技術を取り入れた次世代型公共交通を検討していきたいと考えています。最近では県内自治体でも導入が進んでいる AI デマンド交通については、利用者数が減少しているコミュニティバスに代わる、新たな公共交通として期待できるものと感じています。

本日の会議では、コミュニティバスに関して 3 点の議題があがっています。みなさまの忌憚のないご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

〈事務局〉

ありがとうございました。先ほども触れましたが、今回の会議から新しく加わりました委員や今回初めての出席となる委員、専門員の方々もおられますので、皆様の自己紹介を、委員から反時計回りでお願いいたします。

3. 自己紹介

～委員・専門員自己紹介～

4. 議題・報告事項

(1) 会長の選出（議題）

〈事務局〉

それでは、議事に移らせて頂きます。まず、会議の成立についてご報告いたします。

本日、委員 10 名中、ご出席いただきました委員は、10 名でございます。過半数の委員の方にご出席いただいておりますので、早島町地域公共交通会議設置要綱第 5 条第 3 項の規定により、本会議が成立することをご報告させていただきます。

続きまして、議題・報告事項（1）の「会長の選出」を行います。昨年 8 月に町長が変わりまして、最初の会議となりますので、このたび、会長の選出を改めて行うこととします。会長の選出につきましては、委員の互選となっておりますが、事務局案を提案させていただきたいと考えます。

いかがでしょうか。

～ 委員発言（異議なし） ～

〈事務局〉

事務局案といたしましては、会長を佐藤委員にお願いしたいと思います。皆さんいかがでしょうか。

～ 委員発言（異議なし） ～

〈事務局〉

ありがとうございます。

それでは、佐藤委員に会長席へ移動して頂き、議事運営をお願いしたいと思います。佐藤会長、議事運営をお願いします。

〈会長〉

それでは、次第の 4 番目になります、議題・報告事項について、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

失礼いたします。事務局の松下でございます。

それでは、報告事項についてご説明いたします。お手元の資料 1 をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。それでは、今の事務局の説明につきまして、ご質問等がございましたら、

お願いいたします。

〈委員〉

小学生が利用する際に、朝の通学の時間に乗る子が多くて、他の方が乗れないというご意見を伺ったことがあります。基本的には利用者数を増やしていく方針で間違いないでしょうか。

〈事務局〉

利用者数を増やしていく方針で間違いありません。小学生の利用について、利用が多いため通学の時間だけはコミュニティバスとタクシーの追従の2台に分けて運行しています。

〈委員〉

私は日笠山団地に住んでいますが、去年の夏から団地内に1便運行いただき、ありがとうございます。大変助かっているのですが、1便だけでは使い勝手が悪いので、せめてあと1便だけでも増やしてもらえると助かるという意見が多く寄せられています。町の中心部から日笠山に上がる便が10時47分で、そこから出発するのが11時1分だったと思いますが、この1便だけでは使いづらいとのことでした。この少し前、例えば9時台に日笠山を出発して、町内の役場や銀行、スーパーなどで用事を済ませて、10時47分に日笠山に帰ってこれると非常に助かるという声が多かったです。また、日笠山をあえて終点、始発にする意味があまり分からず、通常の通過するバス停にできないのかという意見も多く寄せられました。その点について、何か良い知恵があれば教えていただきたいと思います。

〈事務局〉

この件につきましては、次の議題でご説明させていただきます。

〈専門員〉

東コースの小浜の樋は交差点内にバス停があり、ここは県道を北進してきて、右折してすぐに路肩、波線の内側に停まる形だと思いますが、朝夕は非常に交通量が多いので、交通安全には十分注意していただきたいと思います。今のところ警察に苦情等は入ってきていないので、引き続きよろしくお願いします。

〈委員〉

南コースの廃止が議題にも入っていますが、昨日婦人会で話をした際に南コースの運転手が早く見つかってほしいという意見があったので、廃止と聞いて残念でした。

〈事務局〉

この件につきましても、次の議題でご説明させていただきます。

〈専門員〉

資料1の5ページにあります、福祉タクシー助成事業と高齢者乗合タクシー運行事業はどちらも良い制度だと思うのですが、2つの制度を併用することは可能でしょうか。

〈事務局〉

まず、福祉タクシー助成事業では、申請者にタクシーチケットをお配りしており、高齢者乗合タクシー運行事業は、区域運行としており、自治会と町、タクシー事業者の計3者が契約するものになっています。高齢者乗合タクシーの利用者に対しては、サービスで荷物をご自宅まで運ぶところまでやっているところがあり、タクシーチケットの方ではそこまでのフォローが難しいので、それぞれを棲み分けている状況になっています。

〈委員〉

路線図を見ていただいたら分かりますが、若宮団地の奥の方や南の方ではバスが通っていない部分はまだあります。若宮バス停が一番高いところにあり、真ん中の通りは急な坂道になっていて、お年寄りの方が荷物を持って自宅まで昇り降りをしている現状があります。もう少し奥の方や南の方へルートを運行してもらえれば楽になるというのは、何年も前から要望が出ています。道幅やカーブの問題で難しいのは分かっていますが、そういう要望があるということはお伝えしておきます。また、土曜日の運行はやはり難しいのでしょうか。こちらも運行してほしいという要望が出ています。そして、あと一つお聞きしたいのが、コミュニティバスは他の自治体でも走っているところがありますが、有料で運行している場所もあるようです。早島町は初めから無料で嬉しいのですが、無料にした経緯が分かれば教えていただきたいです。

〈事務局〉

まず、若宮の路線延長の話が出ましたが、南側はやはり道路の幅員が狭いと感じており、交差点等で曲がる際に今の車両だと難しいと考えています。マイクロバスではなく、ハイエースなどであれば少しは違うと思いますが、運行を検討する場合は車両の変更が伴うのではないかと考えています。路線を奥に延長することについても、20～30 cmほど幅員が減少するので、慎重に検討する必要があると思います。また、バス停を作してほしいという要望は各地であります、実際にバス停を作っても利用が全く無く、今もそのバス停を廃止できずにそのままになっていることもあるので、検討する際は利用面も考

慮する必要があると思います。次に、土曜日の運行ですが、乗務員数がぎりぎりの状態で回している状況なので、土曜日にも運行するとすると人員が足りず難しいと考えています。当初は月曜日から金曜日までの運行となっており、要望があったため日曜日にも走らせていますが、実は日曜日の利用者数は非常に少なく、1便丸々空で走ることもよくあります。当時は利用するから走らせてほしいということでしたが、土日はご家族の方がいることが多いので、同乗でスーパーなどに行っているのではないかと思います。3つ目のコミュニティバスの無償運行についてですが、運行を始めた当初に国の補助金があり、運行手数料などすべてを国が負担する形で運行を始めています。運行が始まるまで1か月もないという状況でスタートしたと聞いており、補助金もあるので、とりあえず無料でやってみようということになりました。そこから生活支援の路線ということで現在まで無料で続けている状況です。

(5) 日笠山団地への運行について（議題）

〈会長〉

それでは、次に、日笠山団地への運行について事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

失礼いたします。事務局の松下でございます。それでは、日笠山団地への運行についてご説明いたします。お手元の資料1をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。それでは、今の事務局の説明につきまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

〈委員〉

バスの運行については、非常に時間が切羽詰まっています。特に夕方は駅が混雑し、バスが入れず、常に遅延状況が発生しており、乗務員がトイレに行く時間ありません。日笠山の件は委員がおっしゃったように便宜を図りたいですが、今回は事務局案で継続させていただきたいです。また、事務局には、もう少し柔軟性があるスケジュールを検討していただきたいです。

〈委員〉

先ほどの説明で、バス停を一旦作ると廃止しにくいとありました。私もよく利用しているので、各バ

ス停でどれくらいの人に乗っているかを考えているのですが、その中には一度も利用しているところを見たことがないバス停もあります。担当者も表に出しづらいと思いますが、各バス停で実際にどれくらいの人を利用しているのかを知りたいです。1日の利用者が1人だけとか、全く利用されなかったバス停もあるのではないのでしょうか。そのためにどうしてそこをわざわざ回らないといけないのか分かりませんので、バス停の廃止も検討いただきたいです。

〈事務局〉

委員がおっしゃるように、利用が少ないバス停が東コースにも何か所かあります。例えば、矢尾グラウンドゴルフ場であれば年間を通じて100人も利用していない状況です。また、上矢尾も年間で50人も利用していません。このあたりはバスの運行ルート上であり、利用者がゼロではないということで、バス停を廃止するには至っていない状況になっています。

〈委員〉

委員が指摘しているのは、塩津のことではないでしょうか。

〈事務局〉

塩津は令和4年度で168人の利用があり、それに加えてここはフリー降車も藤井整形の近くで利用があります。ただし、一日のうち、決まった時間だけの利用となっています。

〈会長〉

他にご意見等はありませんでしょうか。それでは、日笠山団地への運行につきまして、各委員に採決をお願いいたします。ご異議ありませんでしょうか。

～委員発言〈異議なし〉～

〈会長〉

ご異議が無いようですので、提案のあった「日笠山団地への運行について」は、当会議で協議が調ったことといたします。

(6) 東西コースの運行時刻変更について（議題）

〈会長〉

続きまして、東西コースの運行時刻変更について事務局から説明をお願いいたします。

〈事務局〉

失礼いたします。それでは、東西コースの運行時刻変更についてご説明いたします。お手元の資料 1 をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。それでは、今の事務局の説明につきまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

〈委員〉

早島駅発を 18 時 10 分から 18 時 8 分に変更するという事で、その後のバス停については時刻は変わらないのでしょうか。

〈事務局〉

早島駅を発車するのが 2 分早くなるので、以降のバス停も最終便の早島駅着までは 2 分早く回るようになります。最終便の早島駅発の時刻は今のままで変わりません。

〈専門員〉

先ほどの説明で、18 時 8 分に改正しても、JR 茶屋町駅方面行 18 時 2 分の電車との接続が 6 分あるので影響がないとありましたが、足などが不自由な方も含めて影響がない、問題がないという認識でよかったのでしょうか。

〈事務局〉

自分で階段が登れないような方であれば難しいかもしれませんが、そのような方や車いすに乗っているような方はそもそもコミュニティバスを利用できないので、コミュニティバスを利用できる方については、この接続時間で問題ないと考えています。

〈専門員〉

身体が不自由な方の場合、乗り継ぎができない可能性もゼロではないということでしょうか。

〈事務局〉

自分で歩くのが難しい方であれば、現在の接続 8 分でも厳しいと思います。しかし、コミュニティバスの運転手には事前に確認しましたが、この時間帯でそのような方の定期的な利用は見たことがないと聞いています。

〈会長〉

他にご意見等はありませんでしょうか。それでは、東西コースの運行時刻変更につきまして、各委員に採決をお願いいたします。ご異議ありませんでしょうか。

～委員発言〈異議なし〉～

〈会長〉

ご異議が無いようですので、提案のあった東西コースの運行時刻変更については、当会議で協議が調ったことといたします。

(7) 南コースの廃止について（議題）

〈会長〉

続きまして、南コースの廃止について事務局から説明をお願いいたします。

〈事務局〉

失礼いたします。それでは、南コースの廃止についてご説明いたします。まず、青色の運行路線図をご覧ください。

～事務局より説明～

〈会長〉

ありがとうございました。それでは、今の事務局の説明につきまして、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

〈委員〉

運転手の募集をしましたが、まったく良い話が無かったため、事務局に相談させてもらいました。南コースのバスは EV 車で、バリアフリーではなく非常に乗りにくかったので、前の運転手はステップを

手で出したり、荷物を持ってあげたりしていました。普通の運転手はそこまでできないと思います。今も募集中ですが、中々見つからないのが現状です。また、費用対効果を見ても、一人当たり 3,000 円というのは町の税金を使う上でいかななものかと思います。事務局だけではなく、事業者としても続けるのは無理ではないかということで、今回の議案にあげていただきました。そういう経緯があるのでご理解いただきたいです。

〈会長〉

他にご意見等はございませんでしょうか。それでは、南コースの廃止につきまして、各委員に採決をお願いいたします。ご異議ございませんでしょうか。

～委員発言〈異議なし〉～

〈会長〉

ご異議が無いようですので、提案のあった南コースの廃止については、当会議で協議が調ったことといたします。

5. その他

(1) 意見交換

〈会長〉

続きまして、次第 5 その他についてですが、委員、専門員の皆様から、会議を通じての意見・質問や早島町コミュニティバスなどについて、意見等がありますでしょうか。

〈事務局〉

本日は岡山県の専門員から令和 4 年に実施しました、岡山県パーソントリップ調査についてご報告いただけるということなので、よろしくお願いいたします。

～岡山県パーソントリップ調査について説明～

〈委員〉

パーソントリップ調査を踏まえて、今後の交通政策の方向性や新年度の予算に新たに盛り込んだことなどがあれば教えていただけますでしょうか。

〈専門員〉

調査結果については、市町村の皆様にも共有していますので、施策等にも活用していただきたいです。県における活用法ですが、現在 JR の利用促進を行っているところなので、さらに利便性を高められるように、今回の結果を分析して具体的な取り組みを考えていきます。

〈会長〉

他に意見等がないようでしたら、事務局にお返しする前に、駅のバリアフリー化について少し触れさせていただきます。今年の 1 月に内閣府に交付金の申請書を提出し、3 月の中旬までには交付金が採択される予定です。それによって議会で議員の皆様の承諾を得た後、支払いのシミュレーションを作り、各自治会へも公聴会でご案内させていただきます。4 月から始めて令和 7 年度中までに工事を完成させなければならないので、その予定で現在進めているところです。それでは、事務局にお返しします。

〈事務局〉

色々のご意見をいただきありがとうございました。

本日いただきました、ご意見等を踏まえ、今後のコミュニティバスを含めた公共交通の政策に活かしていきたいと考えています。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして、令和 5 年度第 2 回早島町地域公共交通会議を終了いたします。

本日はありがとうございました。

6. 閉会

以上